

社会科 第2学年

【教科の目標】

○歴史的分野

- (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

○地理的分野

- (1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

【年間指導計画】

| 学期 | 月 | 単元・題材 | 学習活動 |
|----|---------------|--|--|
| 1 | 4, 5, 6 | 【地理的分野】 ○日本のさまざまな地域の調査 【歴史的分野】 第4部2章～5章 | <ul style="list-style-type: none">・身近な地域における諸事象を取り上げ、観察や調査などの活動を行い、生徒が活動している土地に対する関心と理解を深める。・中世の大きな勢力が力を失ったことや、中世までとは異なる社会が生まれていったことを理解する。・江戸幕府の支配や中世から近世への転換のようすを、中世の武家政治との違いを考察する。・農林水産業や手工業、商業などの産業や河川、海上交通などが発達したことを理解する。・都市や農村の変化に着目する。 |

| | | | |
|---|---------------|----------------------|---|
| 2 | 7, 8, | 【地理的分野】 第3部1・2章 | <ul style="list-style-type: none"> ・世界的視野からみた日本の地域的特色や、日本全体の視野からみた国内の地域差について追究する。 ・世界と比べた日本の地域的特色を「自然環境」、「人口」、「資源・エネルギーと産業」、「地域間の結びつき」の観点をもとに考察し、その過程や結果を表現する。 ・日本の気候の特色を、気温・降水量の変化に着目し考察する。 |
| | 9, 10 | 【歴史的分野】 第5部1～3章 | <ul style="list-style-type: none"> ・産業革命の進展にともない、資本主義社会が成立したことや労働問題・社会問題が発生したことに気づかせる。 ・幕府が対外政策を転換して開国したこと、その政治的および社会的な影響を理解させ、それが明治維新につながることに気づかせる。 ・富国強兵、殖産興業政策のもとに行った諸改革を取り上げ近世から近代への転換の様子を、政治や社会の違いに着目する。 |
| | 10, 11 | 【地理的分野】 第3部3章1～3節 | <ul style="list-style-type: none"> ・他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、九州・中国・四国・近畿地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成する。 |
| | 12, | 【歴史的分野】 第5部4～6章 | <ul style="list-style-type: none"> ・大日本帝国憲法の制定によってアジアで唯一の立憲制の国家が成立したことに着目させ、立憲制の国家が成立して議会政治がはじまったことの歴史的意義や現代の政治とのつながりに気づかせる。 ・日清、日露戦争にいたるまでの日本の動き、韓国の植民地化などを扱い、日本の国際的地位が向上したことを理解する。 ・富国強兵、殖産興業政策の下、近代産業が日清戦争前後から飛躍的に発展して、資本主義経済の基礎がたかまったことに気づかせる。 |
| | 1, 2, 3 | 【地理的分野】 第3部3章4～7節 | <ul style="list-style-type: none"> ・他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、中部・関東・東北・北海道地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成する。 |

3 評価の内容(手だて)

(1)主体的に学習に取り組む態度

社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

(2)思考・判断・表現

社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や役割、相互の関連などを多面的・多角的に考え、公正に判断できているかどうかを、テストやワークシートなどで評価します。

(3)知識・技能

統計や新聞などから、現代の社会的事象・課題に関するさまざまな資料を適切に収集したかどうか、どのように追究し考察したかを、発表やレポートなどで評価します。また、資料から読み取れる内容をきちんと読み取れるか、そこから導かれる結論を正しく出せるかどうかを、テストやワークシートなどで評価します。

社会的事象の意義や特色、相互の関連について、基本的な用語などの知識を身につけているかどうかを、テストや発表などで評価します。

| | 主体的に取り組む態度 | 思考・判断・表現 | 知識・技能 |
|--------------|------------|----------|-------|
| 定期テスト(中間・期末) | | ○ | ○ |
| ワーク | ○ | | |
| ワークシート | ○ | ○ | ○ |
| 発言・発表, 授業態度 | ○ | ○ | ○ |

【学習アドバイス】

(1)授業の準備:教科書・資料集等, 授業で使用する教材を忘れないこと。

(2)宿題・提出物:宿題・提出物は期日を守り提出すること。

(3)授業中:① 自分の考えをワークシートにしっかり書くこと。

② 板書事項だけでなく、気付いたこと等をワークシートに書き込むこと。

③ 疑問点などは、そのままにせず質問すること。

(4)ワークシート:毎時間配布するので、ファイルに挟み紛失を防ぐこと。

【使用教科書・副教材】

- ・中学生の歴史(帝国書院)・ビジュアル歴史(東京法令出版)・社会の自主学习・歴史1(新学社)
- ・中学生の地理(帝国書院)・ビジュアル地理(東京法令出版)・社会の自主学习・地理1(新学社)
- ・中学校社会科地図(帝国書院)